

・三位一体後第二主日

泉のほとり

今月の詩編 第一〇八編

どうか我らを助け

敵 からお救い下さい

人間の与える救いは

むなしいものです



この曲がった時代から救われよ

使徒ペテロが「あなた方がイエスを十字架につけた」と語ることは心刺され、「兄弟たち我々はどうしたらよいのですか」と言いました。直接、十字架につけて殺したのはローマの兵士たち、そしてピラトです。更に、大祭司など民の指導者たちが十字架につけるようにとピラトに引き渡したのです。しかし、彼らは「私ではありません」、「ピラトです」、「我らの指導者たちです」、「我々は十字架につけると叫んだだけです」、「賛同しただけで」とは言いませんでした。「私たちがどうしたらよいのですか」といって、自分たちもその一員であることを認めたのです。ペテロは心刺されてそう言った人たちに、「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によって洗礼を受けなさい。すると、聖霊の賜物を受けます」と語りました。

白 分白は罪を聞けず、自分の罪を罪と見て、神に立ち返る人は幸いです。赦していただけるからです。それが神の御子を十字架につけたことに賛同した人たちであっても、「赦していただける」と言うのです。ところが、神の慈しみはそれだけにとどまらず、ご自分の罪を与え、聖霊の賜物を与えるとも言うのです。

これほどに神は真実を曲げず、直ぐな心で近づく者を豊かに慈しまれるお方です。そしてその信仰は洗礼を受けてからも決して失ってはならないものです。

人は自分を正当化するのがとても上手です。人の心に深く根付いているのは、都合の悪い自分の真実を隠し、見たくない、触れたくない、指摘されたくないという心です。どんな人間でも完全ではありませんから、間違ひもすれば、悪いこともします。避けられないことです。しかし、問題は、その間違ひをしたときに、あるいは、

間違ひが発見された時に、どうするかです。「すみませんでした」と言うのか、「確かに間違ひであるが、事情があった」と言い訳するのか、あるいは「私はやっていない。あの人の責任だ」と言うのか。いろいろあると思いますが、そこには「通りしかなないので、すなわち、自分の非を認めるか、認めないかです。その心の姿勢は日常においてだけでなく、聖書を読むときにも大きく影響され、そのまま現れるのです。

実際、洗礼を受けても、人は多くの課題を持っていきます。聖書には私たちの心刺されることばが多く語られています。なぜなら聖書は罪人のため、罪人をまっすぐにするための本だからです。それで洗礼を受けてからも重要な心刺される素直さです。たとえ耳に届くことでも自分の「真実」であれば聞く。真実が知らされたら、どんなに格好悪く、悔めでも、その真実を曲げない、白くならない者に、神は慈しみ深いお方です。その者に注がれる神の恵みは大きいのです。たとえ今まで何十年も自分が「正しい」と主張してきたことでも、聖書に照らされて間違ひたことであるのなら、それを素直に認める心が必要で、そのように曲がっていない心の者に聖霊は豊かに働き、賜物を与え、ますますその人をキリストに似た者へとしてくださるのでした。

箴言3章3節は「上は曲がった者を忌み嫌い、直ぐな人と親しくされる」と教えています。この真理は今も変わりません。そしてこれからも変わらない永遠の真理です。この真理の御言葉を愛し、神の前で直ぐな心で生きたいと思えます。その者は自分の隣人に對しても、きよい心で、誠実に生きるでしょう。

執り成し

しかし主は、あらゆる事柄について、あなたが理解するようにしてください。

テモテへの手紙② 二章七節

わたしたちを、受けることにおいて

大胆にしてください。

持っていないものを受け喜びを、

わたしたちに教えてください。

あなたが喜んで与えようとしてくださり

また与えてくださることに

あなたは主でいますので

わたしたちに見えないものを

受けることを教えてください。

あらゆる事柄における分別を受け

それによつて

わたしたちがあなたにおいて

聖なる強いものとなりますように。

わたしたちを

他の者たちのために受けることにおいて

豊かにしてください。

我々の想像力には、かの不壊の冠なる永遠の命まで舞い上がることが到底不可能なので、パウロは神のもとなる逃れ場を訪ね、テモテに知力を与えてくださるようにと祈る。

我々が教えを無駄にせぬようにするために、

主は我々の知性を開かれたのだし、戒めは皆

主白らが我々にその成就の力を渡されている

のであるから、空しく与えられてはいないのである。

カルヴァン

R・ポーレン著 「祈る」より

楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでコーヒースーパードリンクがあります。園舎二階のリズム室では「ぶどうの会」が開かれて、礼拝、受けた恵みの分かち合いをします。

また、十時三十分から園舎二階コスモスのお部屋で紫園音楽伝道師の指導による「賛美と祈りの会」がそれぞれ覚えてご参加下さい。

○第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○午後二時半から四時半まで、ホームカミングデイがあります。この教会で結婚した人たちの同窓会です。前半は礼拝堂でエレクトーンの演奏とパネルディスカッション、後半はホールでティータイムです。関心のある方の参加を歓迎します。

○八月一日から五日まで行われる姉妹教会のコイノニアキャンプのために、献金をお願いします。事務所のカウンターに置いてある献金袋を用いてお献げください。

○一七日に行われた説教熱の公開講演会の資料が事務所のカウンターに置いてあります。興味のある方はご自由にお持ちください。

○七月一四日は諸聖徒記念礼拝です。当日の出欠届けを事務所にてお受けしています。メ切は七月七日です。お早めにご提出下さい。

四国だより

六月を迎えた教会の庭に四種類のあじさいの花が咲き続けております。謹んで五月の教会報告をお送り致します。

教会の基本的なところでは主のご臨在に備えてキリストの花嫁にふさわしく生きる信仰の助けをご聖霊に祈り願っております。教会学校の生徒さんが新しく三名加えられました。市外の教会で受洗しておられて聖餐式の時には六名の生徒さんが並びます。その時には私が聖餐式の意味と生徒さんの日常生活との関わりについてショートメッセージをし、その後聖餐式を行います。生徒の皆さんはしばらくの間を主に感謝したり、悔い改めに導かれたりしているのでしょう。胡と長くお祈りに心を注ぎだしておられ、この時は主のご臨在をはっきりと感じます。

イエス様の言葉とご祈り

「ひるがえってあなたがたも、この幼子のようにならなければ私のところに来る事は出来ません」

いつも生徒の皆さんが頭を垂れてお祈りする姿を見る時、この御言葉が迫ってまいります。大人たちもこの姿に主のご臨在を覚え、聖餐式に臨む白らの心を主の御前に洞察し、聖なる悔い改めに導かれると証言しております。これからも主が彼等を見こころ通りに成長させて下さると神事、感謝しております。

いつも私たちのために憐れとりなしのお祈りをいただき、誠にうれしく感謝を申し上げます。

シオンフルゴスベルチャーチ

田端良恵

聖書の会

7月3日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「自分のそばに置くため」

マルコ3章13節〜19節

菊池美穂子 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「飢え、渴く」ともない

ヨハネ6章22節〜40節

黄允湜 副牧師

次週礼拝

●第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃21 205番 讃21 409番

説教 「喜びにあふれて旅を続けた」

聖書 使徒8章26〜38節

説教者 菊池美穂子 副牧師

●第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 74番 198番

詩篇 36篇

説教 「キリストに結ばれて」

聖書 ローマ6章1〜5節

説教者 古村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 127番
67番

説教 「キリストの他に救いはない」

聖書 使徒4章5節～12節(新約P219)

司式 宮間 彰広 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 491番 238番

詩篇 第108編(旧約P949)

説教 「安らぎを得る道」

聖書 マタイ11章25節～30節(新約P20)

司式 宮間 彰広 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲「対話」 F.グーテン

○讃21 127番

1. み恵みあふれる 主をほめたたえよ
みわざを忘れず 賛美をささげよ
主に求める時 主は答えられる 恩めをもって
2. 求める人には 主は耳傾け
畏れる人には み守り写える
主を仰ぐ人は 苦難の中にも 喜びを歌う
3. 味わい見つめよ 主の深い恵み
とこしえの代まで 変わらぬ憐れみ
みもとに身を寄せ 畏れる人には
欠けるものはない アーメン

○ピアノによる讃美

「主の日、よろこびの日」 曲 L.ガレット

○67番

1. よろずのもの とわにしらす み交よ
いまめぐみを くださったまえ
み名をほむる われらに
2. ひととなりし すくいのみ子 主イエスよ
刺きつるぎの みことばもて
しめたまえ まことを
3. いともつよき なぐさめぬし みたまよ
わがこころを おさめたまえ
琴よりのち はなれで
4. 三つにまして ひとりにます みかみよ
み名のさかえ ほめたたえて
とこしなえに したがわん アーメン

前奏曲「キリエ、聖霊なる父よ」 J.S.バッハ

○讃美歌 491番

○バリトンによる讃美

「我をも救いし」 讃Ⅱ167

○聖歌隊による讃美

「わが心に」 作詞：水野源三・作曲：川口耕平

1. 我が心にのぞみがあり
キリストが与えてくださった
悩みの時も変わらない
まだ見ぬものを待つ望みが
2. 我が心に喜びあり
キリストが与えてくださった
月日が経ってもきえない
この世で得られぬ喜びが
3. 我が進みゆく道があり
キリストがひらいてくださった
暗くあろうと迷わない
御回へ至るうれしき道

○讃美歌 238番

聖餐曲「我ら唯一の神を信ず」 J.S.バッハ

後奏曲「メック氏による協奏曲」 J.G.グアルター

聖餐曲「アレグレット」 L.7バニス

後奏曲「メック氏による協奏曲」 J.G.グアルター

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。